玖島元鬼

故郷ひらき 世をひらく

学校HP

大村市立玖島中学校
学校だより　第25号
R6. 12. 24発行
文責：校長　大場祥一

令和6年の締めくくり　1年を振り返り、希望と決意をもった新年に！

3年　矢敷　星良(生徒会代表)

今日で約4ヶ月間の2学期が終わります。みなさんにとってどんな2学期だったでしょうか。学校行事では、合唱コンクールや生徒会選挙がありました。それに加えて、1年生は、総合的な学習の活動で地域のおまつりに参加したり、地域での学習に取り組み、2年生は、修学旅行があり、起業体験学習が本格的になってきたと思います。また、3年生は、地域貢献活動や市内中学校音楽会などの行事があり、どの学年も忙しい中にも充実した2学期だったのではないかと思います。

私は、図書委員長としての任期が今月で終わりを迎えることになり、たいへんなこともありましたが、少し寂しい気持ちもあります。私は、生徒会の活動を通して、話し合いをまとめることの難しさや図書室の来室者を増やす取組などに悩むこともありました。しかし、副委員長と協力しながら先生方にもサポートしていただき、少しずつ課題を解決することができました。私は、生徒会活動を通して多くのことを学び、充実した活動ができたと感じています。

明日から冬休みに入り、年が明けると1月8日から3学期が始まります。3学期は、1年間の締めくくりの学期であるとともに、次の学年への準備をする学期でもあると思います。1年生は2年生、2年生は3年生、そして3年生は卒業後の進路に向けて、目標をもって努力していきましょう。

今は、一年で最も寒い時期ですが、うがい手洗いなどを意識して行って体調管理に努め、新たな気持ちで3学期をスタートしましょう。

人権週間　人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利！

人権については、常日頃から考えるべきものとして、玖島中では人権週間を特に定めることなく取り組んできました。しかしながら、「平和」や「いのち」を考える週間と同じで、改めて考えを深めたり、確かなものにしたりする週間として位置づける必要性から復活させ、12月4日(水)～10日(火)まで取り組みました。道徳科で考えを深めたり、標語を考えたり、昼の放送で呼びかけたり……、様々な取組を展開しました。各学年の学習委員会が、右のような掲示物を作成し啓発しました。

差別されるのがどういうことなのか、どれくらい深く人を傷つけるのか、それは差別された人間にしかわからない。

村上春樹

玖島の誉れ

R6.12.19 表彰伝達分(敬称略)

第35回諫早市長杯争奪中学校スポーツ選手権大会バレーボール競技Bパート	準優勝	男子バレーボール部
令和6年度大村市イングリッシュスピーチコンテスト	優秀賞	杉見遊
第8回 中央リース杯　大村市中学校秋季新人戦大会	優勝	軟式野球部
令和6年度　長崎県JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部	銅賞	井上優希
令和6年度　長崎県央JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部	金賞	井上優希
令和6年度　長崎県央JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部	金賞	原愛実
令和6年度　長崎県央JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部	銅賞	渡部鈴菜
令和6年度　長崎県央JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部	佳作	宮崎ゆら
令和6年度　長崎県央JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部	佳作	豊田大貴
令和6年度　長崎県央JA共済小・中学生書道コンクール　半紙の部	佳作	山本理緒
令和6年度　長崎県央JA共済小・中学生書道コンクール　条幅の部	佳作	渡部鈴菜
大村市中学生ソフトテニス大会女子Bクラス　シングルス	優勝	山崎楓恋
大村市中学生ソフトテニス大会女子Bクラス　シングルス	準優勝	野口胡桃
大村市中学生ソフトテニス大会女子Bクラス　シングルス	3位	森愛花
大村市中学生ソフトテニス大会女子Bクラス　シングルス	3位	浦山明梨
第5回長崎県食品ロス削減ポスターコンテスト	優秀賞	池田羽苺
第75回大村市中学校バスケットボール競技新人大会	準優勝	男子バスケットボール部

1月の行事予定

1日（水）元日
4日（土）学校閉庁日（12/28～）
8日（水）3学期始業式、表彰伝達
9日（木）生徒会役員任命式・引き継ぎ式
13日（月）成人の日
19日（日）家庭の日
24日（金）ふるさと学発表会、くしマルシェ
27日（月）授業参観、公立特別選抜事前指導
28日（火）公立特別選抜検査
29日（水）高校交流学習（ドローン体験：2年）

保護者・地域の皆様のご支援により、今年を締めくくる年の瀬を迎えます。今年も本当にお世話になりました。ありがとうございました。来年も、玖島中の生徒の健やかな成長のためにお力をお貸しください。玖島中職員一同、来年も頑張ります。どうぞ皆様、良いお年をお迎えください。

飛耳長目

「一年の計は元旦にあり」とは、「一年の計画や準備は一月一日の朝、きちんと整えておきなさい。行き当たりばったりでは何事もうまくいきません」という意味のことわざです。

日本人は新年を迎えると、「事始め」ということをしてきました。一年の始まりに気持ちを引き締めて、「今年こそ！」とスタートする重要な節目、儀式です。初詣、書き初め、初荷、初夢など「初」の付く言葉があります。初詣は、先祖霊である年神を氏神と考え、氏神の元におこもりをして祈る行事でした。一月二日の書き初めは、江戸時代は一月五日。寺子屋では元旦の朝に汲んだ真水を硯に入れ、墨を擦りました。墨を擦る面が斜めだと「心が入っていないからだ」と叱られました。書き初めの紙を燃やして、炎が高く上がると縁起がよいと喜びました。同じ二日は、初荷。問屋からお店に、新年初の商品を飾り立てて運び、その年の繁盛を祝う縁起のよい荷でした。初夢の縁起の良さの順位「一富士、二鷹、三なすび」。年の初めに、心を新たにする。新年を迎える節目を大切にしてきた日本人。時代は変わりましたが、その心に思いを馳せながら、令和七年の計を立ててみましょう。